

議会トピックス

- ▼平成22年度の一般会計・特別会計・企業会計合わせて総額418億8千万円余りについて審査
- ▼大門ショッピングセンターの取得（9.800万円）について議論が集中
- ▼塩尻市議会基本条例特別委員会を設置する議員提出議案を全員一致で可決した

3月定例会

2月24日
～
3月19日

3月定例会概要

3月定例会では、市長から平成22年度一般会計予算など35件の議案が提出され、議員提出議案の4件と市民からの陳情4件を合わせ、計43件の審査を行いました。そのうち平成22年度に係わる予算議案が14件を占め、特

に一般会計予算については最終日に議員から修正案が提出されました。議員提出議案は「塩尻市議会基本条例」の制定について検討を行うため、議会に新たな特別委員会を設置する議案と、政府や行政庁に提出する意見書議案3件であり、それぞれ審査を行いました。

集中議論 大門ショッピングセンター取得費を削除する予算修正案は否決

◆4月臨時会で財産取得の議案が提案される

3月定例会で最も議論が行われたのは、2月に撤退したイトーヨーカ堂が所有する大門のウイングロードビルの1階から4階部分を市が取得するため、平成22年度一般会計予算に計上された、大門ショッピングセンター取得費9千800万円についてでした。

多くの議員が一般質問で市に対して質問し、3月16日の市街地活性化特別委員会と、19日最終日の本会議では、一部の議員から取得費9千800万円を削除する修正案が提出されましたが、賛成者、反対者による討論の後、採決を行っ



3月19日 平成22年度一般会計予算に対する修正案採決の様子

た結果、いずれも修正案は賛成少数により、否決となりました。市長は4月に臨時会を招集し、イトーヨーカ堂との売買契約の議案を議会に提出する。

修正案の主な賛成意見

▲行政が民間事業、商業に関わるのは慎重でなければならぬ。市は当初から買収ありきで対応している。これまでも行政が中心となり活性化事業を進め、108億円を越す巨額の投資がされてきたが、活性化どころか、シャッター街が広がった。えんぱーく建設途中のイトーヨーカ堂撤退も、市は「予期せぬ事態」と評しているが、えんぱーく建設の断行は政治的判断ミスといわざるを得ない。

▲問題点を3つ指摘する。

- 1、物事の進め方、手順の問題。ヨーカ堂から買い取りの依頼があつて以降、市が買い取り以外の方法を検討した経過は一切ない。
- 2、時間的な問題。あまりに急すぎ。
- 3、内容の問題。示された再生計画の内容はあまりに大雑把すぎる。予算化するにはあまりに未熟であり、認められない。

▲ビル取得後のリニューアルの費用がいかにどのなるのか。共同設備の改善など3億3千万〜4億3千万というような見積りがあるが、現在みえな

い部分に瑕疵がどのくらいあるのか全く不明。その改修費用が増大する可能性がある。えんぱーくのオープンと整合しようとか、出店者の意欲の熱があるうちというように発想ですすめるといふことが正しい道か疑問が残る。

修正案の主な反対意見

●大門区民はもとより、多くの市民にとって商業施設のウイングロードビルは必要不可欠なもの。民間だけでは再生は不可能。不動産価格等を総合的に見ても、イトーヨーカ堂の持ち分を市が買い取ることは、中心市街地の活性化に欠かせない。現時点における最善の方法だ。

●商業施設の取得は、行政にとって相当の財政負担とエネルギーを使うが、大門地区1万人の住民を中心に、理解ある市民と共に、大門地区区長の商業ビル取得の熱意を感じる。活性化に一日も早くまい進するべきであり、テナント申し込みもあることから、空きビルとしての空白期間を短期間に収めて進めることが肝要であると思う。地元市民の全面的な協力を確信し原案に賛成する。